

平成16年度 定期作況報告

(8月20日現在)

北海道立中央農業試験場

水稻の部

水田農業科 (岩見沢市)

気象概況

- 7月下旬：平均気温は平年より1.5 高く、降水量は平年の37%、日射時間は平年の163% であり、高温・少雨・多照に経過した。
 8月上旬：平均気温は平年より3.6 高く、降水量は平年の1%、日照時間は平年の132% であり、高温・少雨・多照に経過した。
 8月中旬：平均気温は平年より1.9 低く、降水量は平年の149%、日照時間は平年の135% であり、低温多照に経過した。
 以上、1ヶ月を平均して平均気温は平年より1.1 高く、降水量は平年比45%、日照時間は平比143%であり、高温・少雨・多照に経過した。

7月下旬～8月中旬気象表

項目	7月下旬			8月上旬			8月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温()	28.6	26.3	2.3	29.5	25.8	3.7	24.0	25.3	1.3	27.4	25.8	1.6
最低気温()	19.7	18.9	0.8	22.1	18.6	3.5	15.3	17.6	2.3	19.0	18.4	0.7
平均気温()	24.1	22.6	1.5	25.8	22.2	3.6	19.6	21.5	1.9	23.2	22.1	1.1
降水量(mm)	27.0	73.0	46.0	0.5	58.1	57.6	46.0	30.8	15.2	73.5	161.9	88.4
日照時間(hr)	82.1	50.3	31.8	61.8	46.9	14.9	70.5	52.3	18.2	214.4	149.5	64.9

注)データは「アメダス岩見沢」を使用。平年値は平成6年～15年10ヶ年平均値を農試が算出し使用。
 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた。

作 況

水稻 作況：良

事由：7月下旬から8月中旬にかけて好天が続き、生育は順調に推移した。出穂期は「きらら397」で7月30日、「ほしのゆめ」で7月29日であり、両品種とも平年より3日早かった。稈長・穂長は「きらら397」は平年よりやや長く、「ほしのゆめ」は平年並であった。穂数は「きらら397」で平年比126%、「ほしのゆめ」で平年比117%であり、平年より多かった。薬長は不稔の発生が懸念される1.8mmよりも長く、達観調査では不稔の発生はわずかであった。また、登熟は順調に進んでいる。
 以上より、現在の作況は良である。

品種名	出穂期(月.日)			薬長(mm)
	本年	平年	比較	本年
きらら397	7.30	8.2	3	1.99
ほしのゆめ	7.29	8.1	3	1.98

注)薬は出穂期(7月30日)に特定穎花を採取し、FAA液で固定後調査した。

品種名	稈長(cm)			穂長(cm)			穂数(本/m ²)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きらら397	62.3	61.3	1.0	17.2	16.3	0.9	700	611	89
ほしのゆめ	64.5	64.6	0.1	15.5	15.6	0.1	758	648	110

注1)平年値は前7ヶ年中、平成10年(最豊)、15年(最凶)を除く5ヶ年平均
 注2)平成14年より従来の泥炭土圃場から奨励品種決定調査圃場であるグライ土圃場に移動した。
 注3)耕種概要

土 壤 細粒グライ土
 施 肥 高度化成472全層施肥 N - P₂O₅ - K₂O=8.0-9.7-6.9 kg/10a 堆肥1,500kg/10a
 播 種 量 :中苗紙筒 = 180cc/箱
 栽 植 密 度 :30×13.3cm 25株/m² 4本植え
 移 植 方 法 :手植え
 反 復 :2反復

畑作の部

畑作科 (長沼町)

気象概況

7月下旬：気温は平年より高く、29～31日には連続して真夏日を観測した。降水日数は1日程度少なかったが、26日および31日に激しい雷雨があったことから、降水量は平年に比べ若干多かった。日照時間は多かった。

8月上旬：気温は著しく高く、平均気温は平年より3.6 高く、6～9日に連続して真夏日を観測した。降水量は、2回ほどにわか雨がかったものの量としては観測されず、0.0mmであった。日照時間は多かった。

8月中旬：気温は前期までと一転し、最低気温が低く、平均気温もやや低かった。台風15号の接近により19～20日に合計54mmの降雨があったため、降水量は平年に比べ多かった。日照時間は平年並であった。

以上、1ヶ月を通じてみると、気温は高く、降水量は少なく、日照時間は多かった。

7月下旬～8月中旬気象表

項目	7月下旬			8月上旬			8月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 (℃)	23.4	21.3	2.1	25.0	21.2	3.8	19.7	20.5	0.8	22.7	21.0	1.7
最高気温 (℃)	27.9	25.2	2.7	29.2	24.9	4.3	24.2	24.3	0.1	27.1	24.8	2.3
最低気温 (℃)	19.7	18.6	1.1	21.9	18.3	3.6	15.4	17.6	2.2	19.0	18.2	0.8
降水量 (mm)	54.5	49.6	4.9	0.0	68.6	68.6	71.0	39.2	31.8	125.5	157.4	31.9
降水日数 (日)	3.0	4.1	1.1	0.0	4.0	4.0	5.0	3.9	1.1	8.0	12.0	4.0
日照時間 (hr)	69.6	38.0	31.6	58.6	36.8	21.8	38.5	38.2	0.3	166.7	113.0	53.7

注1) データは「アメダス長沼」を使用。平年値は平成6年～15年の確定値を10年間農試で平均し、本年値は平成16年の速報値を用いた。

注2) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた。

作況

1. 秋まき小麦 作況：やや良

事由：成熟期は「ホクシン」で平年より1日早く、「ホロシリコムギ」では1日遅かった。平年に比べ「ホクシン」では穂長が長く、「ホロシリコムギ」では穂数が多かったことから、子実重は「ホクシン」で平年比106%、「ホロシリコムギ」で116%と多収となった。リットル重は「ホロシリコムギ」では平年並で、「ホクシン」は重かったが、千粒重はいずれの品種ともやや軽く、やや細麦傾向で、品質はやや劣る傾向であった。

以上により、現在の作況はやや良である。

品種名	成熟期(月.日)			稈長(cm)			穂長(cm)			穂数(本/m ²)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ホロシリコムギ	7.22	7.21	1	106	97	9	9.0	8.7	0.3	710	533	177
ホクシン	7.16	7.17	1	98	88	10	10.0	8.6	1.4	639	616	23

品種名	子実重(kg/10a)				リットル重(g)			千粒重(g)			品質(等級)	
	本年	平年	比較	平年対比(%)	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年
ホロシリコムギ	601	516	85	116	773	772	1	43.0	45.1	2.1	-	1下
ホクシン	627	592	35	106	819	784	35	34.9	39.3	4.4	-	1

注) 平年値は前7か年中、平成9年(最凶)、15年(最豊)を除く5か年平均(各収穫年度)。

2. 春まき小麦 作況：良

事由：播種期が平年より8日早く、生育期間が平年より5日長かったことから生育が旺盛で、稈長が長く穂数は多かった。また、登熟期間が多照に経過したことから千粒重が重くなり、子実重は平年比148%の多収となった。リットル重は重く、赤かび病および穂発芽は少なかった。

以上により、現在の作況は良である。

品種名	成熟期(月.日)			稈長(cm)			穂長(cm)			穂数(本/m ²)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ハルユタカ	7.30	8.02	3	90	84	6	8.2	8.7	0.5	507	440	67

品種名	子実重(kg/10a)				リットル重(g)			千粒重(g)			品質(等級)	
	本年	平年	比較	平年対比(%)	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年
ハルユタカ	494	334	160	148	814	772	42	39.2	37.2	2.0	-	2下

注) 平年値は前7か年中、平成11年(最凶)、14年(最豊)を除く5か年平均。

3. 大豆 作況：良

事由：前期に引き続き高温に経過したことから、開花期は平年に比べ、「ツルムスメ」で3日、「ユウヅル」で7日早かった。7月下旬～8月上旬はかなりの高温で経過し、8月中旬も平年並の気温で経過したことから、主茎長は平年より6cm前後長く、主茎節数、分枝数はほぼ平年並で、子実の肥大も順調に進んでいる。参考値ではあるが、着莢数も平年を大きく上回っている。

以上により、現在の作況は良である。

品種名	開花期(月.日)			主茎長(cm)			主茎節数(節)			分枝数(本/株)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ツルムスメ	7.17	7.20	3	61.3	54.8	6.5	13.1	12.5	0.6	7.1	6.1	1.0
ユウヅル	7.22	7.29	7	82.3	75.9	6.4	15.0	15.3	0.3	5.1	5.6	0.5
トヨムスメ(参考)	7.14	7.17	3	65.5	60.3	5.2	10.5	10.4	0.1	7.7	6.6	1.1
スズマル(参考)	7.19	7.28	9	70.7	77.1	6.4	14.2	14.5	0.3	11.4	11.6	0.2

品種名	着莢数(莢/株)		
	本年	平年	比較
ツルムスメ	79.0	55.2	23.8
ユウヅル	57.6	36.6	21.0
トヨムスメ(参考)	95.9	67.5	28.4
スズマル(参考)	178.3	138.6	39.7

注) 平年値は前7か年中、平成12年(最豊)、14年(最凶)を除く5か年平均。

ただし、トヨムスメ スズマルは、前3か年の平均を平年値とし参考とする。

8月の着莢数は前3か年の平均を平年値とし参考とする。

4. 小豆 作況：良

事由：前期に引き続き高温に経過したことから、開花期は平年より3日早い7月22日であった。その後も高温に経過したため主茎長、主茎節数、分枝数および着莢数は平年を上回っている。

以上により、現在の作況は良である。

品種名	開花期(月.日)			主茎長(cm)			主茎節数(節)			分枝数(本/株)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
エリシヨウズ	7.22	7.25	3	67.0	50.5	16.5	13.8	12.2	1.6	4.8	3.6	1.2

品種名	着莢数(莢/株)		
	本年	平年	比較
エリシヨウズ	54.9	44.9	10.0

注) 平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、15年(最豊)を除く5か年平均。

5. ばれいしょ 作況：良

事由：前期に引き続き、特に7月下旬から8月上旬が著しい高温・多照・乾燥気味で経過したため、茎葉の黄変が平年より1週間程度早い7月21日頃から始まった。この茎葉の黄化と高温のため、塊茎肥大とでん粉蓄積は緩慢となった。8月20日現在、枯凋期直前に達し、平均1個重は平年比89%と小粒であるが、上いも数は平年比133%と平年より多いため、上いも収量は平年比119%で平年を大きく上回った。また、でん粉価は14.5%と平年並み～やや低い。なお、軟腐病などによる塊茎腐敗の発生が認められる。

以上により、現在の作況は良である。

品種名	上いも数(個/株)			上いも一個重(g)			上いも重(kg/10a)			でん粉価(%)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
男爵薯	14.5	10.9	3.6	72	81	9	4643	3905	738	14.5	14.7	0.2

注)平年値は前7か年中、平成11年(最凶)、13年(最豊)を除く5か年平均。

6. てんさい 作況：良

事由：7月下旬から8月上旬にかけて著しい高温・多照・少雨で経過したため、地上部生育および根部肥大はやや緩慢気味に進んだ。8月20日の生育は、前期までの良好な生育を反映して、草丈が平年比107%、葉数が平年比127%、根周が平年比110%と平年を上回っている。また、病害虫の発生については、前期に引き続きヨトウガやハダニの食害が多少程度認められ、褐斑病の発生は8月中旬から認められた。

以上により、現在の作況は良である。

栽培法	品種名	草丈(cm)			葉数(枚)			根周(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
移植	モノホマレ	65.9	61.9	4.0	32.7	25.7	7.0	33.9	29.8	4.1

注)平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、15年(最豊)を除く5か年平均。

7. 中央農試作況報告について

平成13年度より、すべての作物で土壌物理性・排水性が改良された基盤整備後の圃場を使用している。

当報告は、中央農業試験場のほ場において行った生育調査について、調査時点における値を中央農業試験場の平年値と比較したものであり、当該管内の作況を代表するものではありません。